

## 少子化・未婚・貧困——非正規雇用 について

4組 今道周雄

### 1. 少子化問題は特殊出生率だけの問題ではない

目下「少子化問題」は先に発表された「こども・子育て政策の強化について（試案）、～次元の異なる少子化対策に向けて～」に沿って議論が行われている。そこでは出生率が主題となっているが、しかし、少子化問題の根はもっと深く、社会構造の見直しまですすめないと解決しない。

その理由は

#### (ア) 婚姻率の低下（結婚以前の問題）

男女が結婚しなければ子供は産まれない。したがって少子化対策の第一は婚姻率を上げることである。

#### (イ) 婚姻はしたが特殊出生率が低い（結婚後の問題）

結婚はしたが子供を産む数が少ない、あるいは子供を作らないという問題である。

#### (ウ) 上記の共通原因は経済的な不安である。なかんずく未婚問題は非正規雇用と深く結びついている。

### 2. 未婚問題

4月2日に発表した（「異次元少子化対策」についての疑念）でも書いたが、**未婚率と非正規労働者数**は非常に強い相関関係にある。その理由は非正規労働者の賃金が低く、安定した生活設計ができないために、やむなく未婚となるのであろう。

やや古いデータではあるが正規雇用者と非正規雇用者の賃金比較を示す。

50歳代では約2倍の差がでていて、積算所得でも2倍以上の差が出ると推定する。

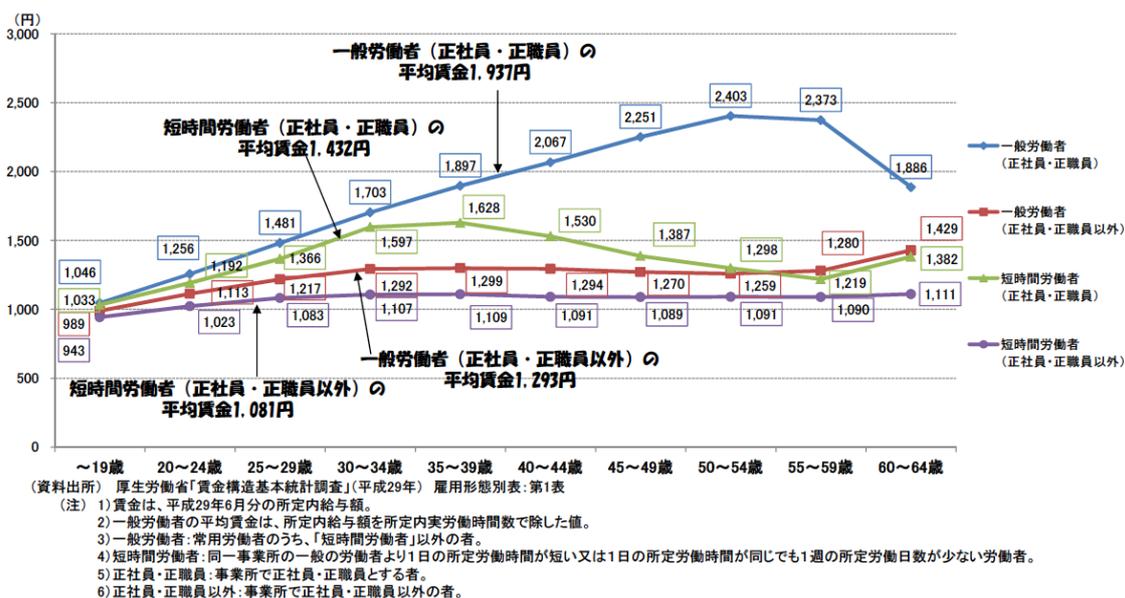
非正規雇用は労働力を流動化する為として1964年に労働省職業安定局労働市場センター業務室が設置されてから政策としてすすめられた。1990年代後半から、国際競争が激しくなる中で経営者団体が労働費用を高止まりさせ、労働者の

移動を妨げている労働市場をあらためるべきであると主張した。その結果 1990 年に民間職業紹介と人材派遣が自由化された。その後見直しが少しずつ行われているが、この政策は「一億総中流」と言われた均質的な社会を、非正規雇用と正規雇用という階級社会に変え、賃金が全く上がらない貧困層を作り出した。

## 「非正規雇用」の現状と課題

### 【賃金カーブ(時給ベース)】

○ 非正規雇用労働者は、正規雇用労働者に比べ、賃金が低いという課題があります。



### 3. 解決策

政治家諸氏は「少子化」問題を「非正規雇用」問題にまで広げると、この問題があまりにも複雑で解決が難しいために、とりつき易い特殊出生率向上にばかり力を入れているのだろうが、日本の将来を本当に考えるのであれば、「未婚—非正規雇用」について解決策を考えて頂きたい。また、賃金を安く抑えたがために、頭脳の海外流出まで起こっている。

ChatGPT に頼って国会答弁を書くような大臣では解決を頼むのは無理なのかもしれないが。

以上